

聴覚障害児の日本語文法理解力の検討

J.COSS 日本語理解テストを用いた横断的研究によって

中川佳子¹・武居 渡²・小山高正³

(¹東京未来大学こども心理学部²金沢大学人間社会研究域³日本女子大学人間社会学部)

【問題と目的】

J. COSS 日本語理解テスト(JWU, Japanese Test for Comprehension of syntax and semantics;中川他, 2010)とは、英語版と欧州各国語版文法理解テストをもとに制作された日本語の文法理解状況を評価することができるテストである。このテストは日本語における文法理解の発達順序や、平均獲得時期を指標として、ことばの発達に問題のある言語発達遅滞児や言語障害児の発達水準や障害領域を特定することができる。また、問題文を口頭で提示する<聴覚版>と書記提示する<聴覚版>テストが完成し、幼児期から児童期にかけての口頭・書記日本語における文法発達の順序性や文法項目別の発達過程が示されている。本研究では、聴覚理解に障害のある小学生を対象に、J.COSS 日本語理解テスト<視覚版>を用いて書記日本語文法理解力を横断的に調査し、聴覚障害児の日本語文法理解力の発達過程と理解に困難が示された項目に対する誤反応分析からその特質を検討する。

【方法】

対象児：特別支援学校（聾）に通学する小学校1年～6年の聴覚障害児70名を対象とした。**課題と手続き** 書記日本語文法理解力を評価するためJ. COSS 日本語理解テスト<視覚版>を用いた。J. COSS 日本語理解テストはマニュアルに従い、第二部：文の理解テストのみ1クラス単位（1クラス：3～13名）の集団テスト法で実施した。J. COSS 日本語理解テスト第二部には名詞(1)形容詞(2)動詞(3)という語彙レベルの項目と、二要素結合文(4)否定文(5)三要素結合文(6)置換可能文(7)位置詞(12)受動文(14)比較表現(15)格助詞(19)などの文法20項目の理解を評価することができるテストである。このテストには項目ごとに4種類の問題が設定され、問題ごとに問題文（分ち書き・ふりがな付き）と4種類の選択肢（正答1、誤答3）が準備されている。対象児は、問題文を発話せずに読み、問題文と一致する絵を4種類の選択肢（絵）の中から選択するよう要求された。解答方法はマークシート方式を採用し、対象児は解答用紙（B4）の該当する問題番号下の選択肢の番号に○をするよう要求された。所要時間は1クラスあたり20～45分程度であった。

【結果と考察】

各項目に設定された4種類の問題を全問正答した場合にその項目を通過したとみなし、対象児の通過率を学年別に平均したものが表1である。健聴者と比べると、全体的に通過率は低く、受動文(14)、比較表現(15)、格助詞(19)、主部修飾：中央埋込(20)の通過率が特に低い傾向が示された。そこで、聴覚障害児がどのように書記日本語を理解しているかを分析するため、誤反応分析を行った結果、受動文は文頭の名詞を動作者として（受動文を能動文として）解釈する傾向が示された。また、比較表現は「～より」という表現でどちらが大きい（小さい）のかを理解するのが困難な傾向にあり、格助詞は格助詞（を・に）なしで文を理解している傾向が示された。

表1. 聴覚障害児における書記日本語理解の発達過程

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1年	100.0	62.5	62.5	62.5	50.0	62.5	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
2年	100.0	92.9	85.7	100.0	64.3	92.9	14.3	50.0	28.6	14.3	7.1	42.9	14.3	21.4	7.1	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0
3年	100.0	100.0	78.6	92.9	78.6	100.0	28.6	35.7	28.6	28.6	14.3	14.3	21.4	21.4	28.6	21.4	7.1	21.4	21.4	0.0
4年	100.0	100.0	94.1	100.0	100.0	94.1	58.8	70.6	58.8	70.6	41.2	35.3	35.3	35.3	23.5	64.7	41.2	29.4	29.4	11.8
5年	100.0	100.0	95.5	100.0	81.8	81.8	54.5	54.5	50.0	63.6	22.7	22.7	9.1	13.6	13.6	36.4	18.2	27.3	13.6	0.0
6年	100.0	93.3	100.0	93.3	86.7	86.7	80.0	73.3	73.3	93.3	46.7	60.0	53.3	40.0	53.3	80.0	53.3	73.3	33.3	0.0

【謝辞】 調査実施にあたりご協力いただきました被検者・関係者の皆様に心より感謝いたします。